

大妻女子大学国際センター

日本語・日本事情 2025年度後期開講 時間割・シラバス

【重要】

シラバスは、留学終了後に大学の単位認定で使う大切な資料です。

学籍番号

氏 名

国際センター開設日本語・日本事情 2025 年後期時間割

	月		火		水		木		金	
9:00~10:30	日本語中級 2 (能力試験対策) H414	伊藤	日本語中級 2 (読解) H313	福永						
10:40~12:10	日本語中級 2 (総合 C) H414	伊藤	日本語中級 2 (口頭表現) H313	森田	日本語と 日本の文化 CF437	森	日本語中級 2 (聴解) CF742	森田		
13:00~14:30	日本語中級 2 (総合 D) H414	伊藤	日本国家概況 H313	趙	日本の文学 (近・現代) CF342	森	日本語中級 2 (文章表現) CF742	徳増		
14:40~16:10					映画から見る 日本文化 CF342	森				

日本語中級2(総合C)

必修(総合Dと併せて2単位) 月2限 教員氏名:伊藤 みちる

開講年度・学期 2025年度後期

【授業種別】 講義

【授業概要・ねらい】

日本語中級後期レベルの学生が対象です。今まで学んできた日本語を総合的に使用して、日本語・日本に関する様々なテーマに関する講義を行います。様々な生教材に触れることで、「教科書の日本語」だけでなく、日本語中級後期レベルの「敬語」「文法」「語彙」「言葉の意味」「表記」「漢字」を総合的に、生きた日本語として自然に使えるようにバランス良く定着させることを目的としています。

【到達目標】この授業では、基礎語彙8000語、基礎漢字1500～1800字程度を用い、目的や場に応じた適切な語句・漢字や慣用表現を用いた文章表現や、日常生活で使われる表現に慣れ、実際に使えるようになります。自分の考えや疑問を漢字と仮名で適切な表記ができるよう練習し、的確に自然に発話して自信を持って議論を展開できるようになります。

【授業計画】様々な状況により変更する場合がありますが、現時点の予定は以下のとおりです。

第1回	ガイダンス
第2回	日本の防災①
第3回	日本の防災②
第4回	「日本ってどんな国？」
第5回	「都市の暮らし・地方の暮らし」
第6回	「日本の旅を楽しもう」
第7回	「いただきます！」
第8回	「季節を楽しむ年中行事」
第9回	「知っておきたい日本の歴史」
第10回	「教育と子どもたち」
第11回	「日本の信仰」
第12回	「伝統文化体験」
第13回	「日本に住む外国人たち」
第14回	「敬語」
第15回	日本語中級2(総合)総まとめ プレゼンテーション

【評価基準】授業出席8割以上を評価対象とします。授業出席8割未満はE(出席不足)です。

評価割合は、レポート50%、プレゼンテーション50%です。

S(100～90点)A(89～80点)B(79～70点)C(69～60点)D(59点以下は不合格)

【教材】『にほんご敬語トレーニング』金子広幸 アスク出版

【その他】

- ・ 質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。
- ・ 遅刻と早退を計3回すると1回分の欠席になります。30分以上の遅刻と早退は欠席とします。
- ・ この授業は、月曜日3時限「日本語中級1(総合D)」と連続しています。この授業を履修する学生は、「日本語中級1(総合D)」の履修も必須です。
- ・ 「日本語中級1(総合C)」を欠席した学生は、同日の「日本語中級1(総合D)」の校外学習には参加できません。
- ・ 「日本語中級2(総合C)」と「日本語中級2(総合D)」をあわせて交通費と入場料など合計約5,000円が必要です。

日本語中級2(総合D)

必修(総合Cと併せて2単位) 月3限 教員氏名:伊藤 みちる

開講年度・学期 2025年度後期

【授業種別】 講義

【授業概要・ねらい】

日本語中級後期レベルの学生が対象です。今まで学んできた日本語を総合的に使用して、日本語・日本に関する様々なテーマに関する講義を行います。様々な生教材に触れることで、「教科書の日本語」だけでなく、日本語中級後期レベルの「敬語」「文法」「語彙」「言葉の意味」「表記」「漢字」を総合的に、生きた日本語として自然に使えるようにバランス良く定着させることを目的としています。

【到達目標】この授業では、基礎語彙8000語、基礎漢字1500～1800字程度を用い、目的や場に応じた適切な語句・漢字や慣用表現を用いた文章表現や、日常生活で使われる表現に慣れ、実際に使えるようになります。自分の考えや疑問を漢字と仮名で適切な表記ができるよう練習し、的確に自然に発話して自信を持って議論を展開できるようになります。

【授業計画】様々な状況により変更する場合がありますが、現時点の予定は以下のとおりです。

第1回	ガイダンス
第2回	日本の防災①
第3回	日本の防災②
第4回	「日本ってどんな国？」
第5回	「都市の暮らし・地方の暮らし」
第6回	「日本の旅を楽しもう」
第7回	「いただきます！」
第8回	「季節を楽しむ年中行事」
第9回	「知っておきたい日本の歴史」
第10回	「教育と子どもたち」
第11回	「日本の信仰」
第12回	「伝統文化体験」
第13回	「日本に住む外国人たち」
第14回	「敬語」
第15回	日本語中級2(総合)総まとめ プレゼンテーション

【評価基準】授業出席8割以上を評価対象とします。授業出席8割未満はE(出席不足)です。

評価割合は、レポート50%、プレゼンテーション50%です。

S(100～90点)A(89～80点)B(79～70点)C(69～60点)D(59点以下は不合格)

【教材】『にほんご敬語トレーニング』金子広幸 アスク出版

【その他】

- ・ 質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。
- ・ 遅刻と早退を計3回すると1回分の欠席、30分以上の遅刻と早退は欠席とします。
- ・ この授業では「日本語中級2(総合C)」で学んだテーマに関連した校外学習を行います。そのため「日本語中級2(総合C)」を欠席した学生は同日の「日本語中級2(総合D)」の校外学習には参加できません。
- ・ 「日本語中級2(総合C)」と「日本語中級2(総合D)」をあわせて交通費と入場料など合計約5,000円が必要です。

日本語中級2(読解)

必修(2 単位) 火 1 限 教員氏名:福永 裕美

開講年度・学期 2025 年度後期

【授業種別】講義

【授業概要・ねらい】

日本語中級後期レベル以上の学生が対象です。今までに身につけた基礎を生かし、新たに学ぶ語彙を加えながら、日本や日本人について書かれた文章を読み進め、「読解能力」と共に「語彙」「文型・表現」についても学びます。書かれていることを理解しながら内容をまとめ(要約)、意見を述べたりする能力も定着させることを目的としています。

【到達目標】 この授業ではさまざまな語彙、文型・表現を含んだ文章を読み、読解能力の向上はもちろんのこと、授業内で内容質問を行いながら、正確にテンポ良く文章を読み進めるための能力を高めることを目標としています。正しい文法知識や語彙を増やし、日本の文化や日本人の考え方や価値観についても理解することができるようになることも目指しています。

【授業内容】

第 1 回	ガイダンス、レベルチェックテスト、第 16 課「地理」
第 2 回	第 17 課「家族/家庭生活」
第 3 回	第 18 課「情報化社会」
第 4 回	第 19 課「日本の文化」
第 5 回	第 20 課「医療」 ☆小テスト
第 6 回	第 21 課「犯罪」
第 7 回	第 22 課「科学技術」
第 8 回	第 23 課「文学/芸術」
第 9 回	第 24 課「法律」
第 10 回	第 25 課「人間関係」 ☆小テスト
第 11 回	第 26 課「政治」
第 12 回	第 27 課「心の豊かさ」
第 13 回	第 28 課「生命倫理」
第 14 回	第 29 課「経済」
第 15 回	第 30 課「国際化/多文化社会」 ☆期末試験

【評価基準】授業出席 8 割以上を評価対象とします。授業出席 8 割未満は E(出席不足)です。

評価割合は、授業内の課題 40%、小テスト 20%、期末試験 40% ずつです。

S(100～90 点)A(89～80 点)B(79～70 点)C(69～60 点)D(59 点以下は不合格)

【教材】「学ぼう！にほんご 上級」日本語教育教材開発委員会 編著 専門教育出版

【その他】

・質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。

・チャイムの後より遅刻となります。30 分以上の遅刻と早退は欠席とし、遅刻と早退を計 3 回すると 1 回分の欠席になります。

日本語中級2(聴解)

必修(2 単位) 木 2 限 教員氏名:森田 恵美

開講年度・学期 2025 年度後期

【授業種別】 講義

【授業概要・ねらい】

日本語中級前期レベルまでの文法・語彙の復習後、さまざまな日本語学習教材や音声・映像教材を通じて自然なスピードと言い回しに慣れ、的確に必要な情報を「聞く」技能を伸ばすことを目指します。

【到達目標】 日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解し、要旨が把握できるようになります。「聞く」ことで得た情報をまとめ、意見を述べるなど「書く」「話す」能力も向上させます。

【授業計画】様々な状況により変更する場合がありますが、現時点の予定は以下のとおりです。

第 1 回	ガイダンス、J-PEAK Unit5 「日本美術」
第 2 回	日本語生中継 Lesson5 「そこをなんとか」 ー依頼・指示ー①
第 3 回	日本語生中継 Lesson5 「そこをなんとか」 ー依頼・指示ー②
第 4 回	J-PEAK Unit6 「外来語の取り扱い」
第 5 回	日本語生中継 Lesson6 「今貰えないと、困るんだけどね」 ー文句・苦情ー① 小テスト①
第 6 回	日本語生中継 Lesson6 「今貰えないと、困るんだけどね」 ー文句・苦情ー②
第 7 回	J-PEAK Unit7 「身の回りの細菌と健康の関係」
第 8 回	日本語生中継 Lesson7 「中華の方がいいんじゃない？」 ー提案ー① 小テスト②
第 9 回	日本語生中継 Lesson7 「中華の方がいいんじゃない？」 ー提案ー②
第 10 回	J-PEAK Unit8 「企業の社会に対する貢献」
第 11 回	日本語生中継 Lesson8 「給料は悪くないんだけどね」 ー感想ー① 小テスト③
第 12 回	日本語生中継 Lesson8 「給料は悪くないんだけどね」 ー感想ー②
第 13 回	生教材
第 14 回	生教材
第 15 回	期末試験

【評価基準】 授業出席 8 割以上を評価対象とします。授業出席 8 割未満は E(出席不足)です。
評価割合は、平常点 20%、提出物 10%、小テスト 20%、積極性 10%、試験 40%とします。
S(100～90 点) A(89～80 点) B(79～70 点) C(69～60 点) D(59 点以下は不合格)

【教材】

・「新版 聞いて覚える話し方 日本語生中継」

ボイクマン総子 宮内敦美 小室リー郁子 くろしお出版

・東京大学教養学部のアカデミックジャパニーズ J-PEAK 中上級

根本愛子 ボイクマン総子 藤井明子 ジャパンタイムズ出版

【その他】

- ・質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。
- ・遅刻と早退を計 3 回すると 1 回分の欠席になります。30 分以上の遅刻と早退は欠席とします。
- ・授業時間外でも積極的に日常生活の中で日本語を聞く・話すことを心がけましょう。学内の一般学生との交流を通じ、生きた日本語に触れるよう努めましょう。

日本語中級2(文章表現)

必修(2単位) 木3限 教員氏名:徳増 紀子

開講年度・学期 2025 年度後期

【授業種別】講義

【授業概要・ねらい】

日本語中級後期レベルの学生が対象です。この授業では、大学の授業や研究で求められる書く力を身につけることを目指し、レポートを作成するために必要なアカデミックライティングの知識や技術を学びます。また、大学生活や就職活動にも活用できるような様々なタイプの文章の作成も行います。授業中は、トピックについての話し合いや、作成した文章を発表、相互評価する機会を設けます。この活動を通して文章を客観的に振り返り、自分で文章を修正・推敲し、よりよいレポートの作成を目指します。学生には、話し合いや相互評価への積極的な参加が求められます。

【到達目標】大学の授業で求められる書く力を身につけることを目指します。レポート作成のための知識や技術を習得し、適切な表現を用いて、論理的で説得力のある文章を作成できるようになることを目標とします。

【授業内容】様々な状況により変更する場合がありますが、現時点では以下のとおりです。

第1回	ガイダンス 表記のルールを確認 今学期の抱負
第2回	連絡・依頼メールを作成する
第3回	応募書類を作成する
第4回	アカデミックライティングへの準備(文体と表現)
第5回	自分の体験に基づいて意見を述べる 課題:小論文①
第6回	小論文①【発表・相互評価】 立場を決めて意見を述べる 課題:小論文②
第7回	小論文②【発表・相互評価】 課題を見つけて意見を述べる(視点・呼応の表現)
第8回	課題を見つけて意見を述べる(定義・分類/段落と文の働き) 課題:小論文③
第9回	小論文③【発表・相互評価】 関心のあるニュースを紹介する(引用・要約)
第10回	関心のあるニュースを紹介する(引用・参考文献) 課題:レポート(基礎)
第11回	レポート(基礎)【発表・相互評価】 データに基づいて報告する(図表・データの説明)
第12回	期末レポート作成:テーマ、アウトライン
第13回	期末レポート作成:テーマ、アウトライン、資料収集方法 【共有・相互評価】
第14回	期末レポート【中間発表・相互評価】 レポート推敲・プレゼンテーション資料作成
第15回	期末レポート発表・評価会 今学期の振り返り

【評価基準】授業出席 8 割以上を評価対象とします。授業出席 8 割未満は E(出席不足)です。

評価割合は、課題 40%、最終レポート 30%、宿題・提出物 20%、授業に対する取り組み(話し合いへの積極的な参加・協力、相互評価など) 10%

課題提出締め切りに遅れた場合は減点とします

S(100~90点)A(89~80点)B(79~70点)C(69~60点)D(59点以下は不合格)

【教材】『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』伊集院郁子 高野愛子 アスク出版
『新訂版留学生のための論理的な文章の書き方』二通信子、佐藤不二子 スリーエーネットワーク
・ 必要に応じてプリント教材を配付します。

【その他】

- ・ 30 分以上の遅刻と早退は欠席とし、遅刻と早退を計 3 回すると 1 回分の欠席になります。
- ・ 質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。
- ・ レポートや課題については、第 1 回授業ガイダンスで詳しく説明します。

日本語中級 2（口頭表現）

必修(2 単位) 火 2 限 教員氏名：森田 恵美

開講年度・学期 2025 年度後期

【授業種別】 講義

【授業概要・ねらい】

日本語中級後期レベルの学生を対象とします。この授業では、日常生活における様々な場面や状況を想定し、日本語によるコミュニケーションを行います。相手との関係を考えながら、自分の伝えたいことを適切に表現し、相手が言いたいことを理解できるように、クラス内でやりとりをする機会を多くとります。またクラスで、身近なトピックについて自分の経験や意見を発表していきます。

【到達目標】 この授業では日本語中級から上級の語彙・文法を理解し、会話や発表をする際に使いこなせるようになることを目標とします。最終的にはスピーチ、またはプレゼンテーションにて、説得力のある発表ができるようになることを目指します。成果発表を、12 月に開催される学内スピーチコンテストで行います。

【授業計画】様々な状況により変更する場合がありますが、現時点の予定は以下のとおりです。

第 1 回	ガイダンス、レベルチェック(他己紹介・インタビュー)、1 分間スピーチ導入
第 2 回	1 分間スピーチ、J-PEAK Unit5 「日本美術」①
第 3 回	1 分間スピーチ、J-PEAK Unit5 「日本美術」②
第 4 回	1 分間スピーチ、日本語生中継 Lesson5 「そこをなんとか」－依頼・指示－
第 5 回	1 分間スピーチ、J-PEAK Unit6 「外来語の取り扱い」①
第 6 回	1 分間スピーチ、J-PEAK Unit6 「外来語の取り扱い」② 学内スピーチコンテストに向けて①導入・準備
第 7 回	1 分間スピーチ、日本語生中継 Lesson6 「今貰えないと、困るんだけどね」－文句・苦情－ 学内スピーチコンテストに向けて②原稿作成
第 8 回	1 分間スピーチ、J-PEAK Unit7 「身の回りの細菌と健康の関係」① 学内スピーチコンテストに向けて③原稿推敲
第 9 回	1 分間スピーチ、J-PEAK Unit7 「身の回りの細菌と健康の関係」② 学内スピーチコンテストに向けて④原稿完成・練習
第 10 回	1 分間スピーチ、日本語生中継 Lesson7 「中華の方がいいんじゃない？」－提案－ 学内スピーチコンテストに向けて⑤練習
第 11 回	1 分間スピーチ、J-PEAK Unit8 「企業の社会に対する貢献」①
第 12 回	1 分間スピーチ、J-PEAK Unit8 「企業の社会に対する貢献」②
第 13 回	1 分間スピーチ、日本語生中継 Lesson8 「給料は悪くないんだけどね」－感想－
第 14 回	新聞記事を読み解く
第 15 回	期末試験

【評価基準】授業出席 8 割以上を評価対象とします。授業出席 8 割未満は E(出席不足)です。

評価割合は、平常点 20%、提出物 10%、1 分間スピーチ 15%、ミニ発表 10%、スピーチ＋期末試験 30%、コース開始時からの上達度 15%とします。

S(100～90 点)A(89～80 点)B(79～70 点)C(69～60 点)D(59 点以下は不合格)

【教材】

- ・東京大学教養学部のアカデミックジャパニーズ J－PEAK 中上級
根本愛子 ボイクマン総子 藤井明子 ジャパンタイムズ出版
- ・「新版 聞いて覚える話し方 日本語生中継」
ボイクマン総子 宮内敦美 小室リー郁子 くろしお出版

【その他】 質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。
遅刻と早退を計 3 回すると 1 回分の欠席になります。30 分以上の遅刻と早退は欠席とします。

日本語中級2(能力試験対策)

必修(2 単位) 月 1 限 教員氏名:伊藤 みちる

開講年度・学期 2025 年度後期

【授業種別】講義

【授業概要・ねらい】

日本語能力試験 N2 レベルの「文法」「文字・語彙」を確認して、日本語能力試験 N1 合格に必要な「文法」「文字・語彙」「読解」「聴解」について学習し、多くの練習問題を行います。各自の弱点に合わせ、より高得点にて合格を目指せるように、問題を厳選し、練習を行うことにより、正しい解答を短時間で選ぶことを目指します。

【到達目標】「文法」「文字・語彙」「読解」「聴解」について万遍なく学習し、より高得点での合格を目指します。また日本語能力試験 N1 レベルの文法・語彙を定着させ、難易度の高い長文を読み、高度なレベルの聴き取り、複雑な文法を使って作文ができるようになります。

【授業内容】

第 1 回	ガイダンス レベル確認 N2 復習プリント
第 2 回	小テスト① 模試①
第 3 回	小テスト② 模試解答解説 文の文法 1 時間関係～限定・非限定・付加～例示
第 4 回	小テスト③ 文の文法 1 関連・無関連～逆説
第 5 回	小テスト④ 文の文法 1 条件～原因・理由
第 6 回	小テスト⑤ 模試②
第 7 回	小テスト⑥ 模試解答解説 文の文法 1 可能・不可能・禁止～強調
第 8 回	小テスト⑦ 文の文法 1 主張・断定～助詞・複合助詞～「てくる・ていく」
第 9 回	小テスト⑧ 模試③
第 10 回	小テスト⑨ 総合模試解答解説 受け身・使役・使役受け身～話の流れを考える
第 11 回	小テスト⑩ 日本語能力試験(JLPT)振り返り
第 12 回	読解問題を解く
第 13 回	聴解問題を解く
第 14 回	文字・語彙・漢字問題を解く
第 15 回	総まとめ 学期末テスト

【評価基準】授業出席 8 割以上を評価対象とします。授業出席 8 割未満は E(出席不足)です。

評価割合は、小テスト全 10 回:50%、学期末テスト:50%です。

S(100～90 点)A(89～80 点)B(79～70 点)C(69～60 点)D(59 点以下は不合格)

【教材】増補改訂版『日本語総まとめ N1 語彙』佐々木仁子・松本紀子 アスク出版

増補改訂版『日本語総まとめ N1 漢字』佐々木仁子・松本紀子 アスク出版

増補改訂版『日本語総まとめ N1 文法』佐々木仁子・松本紀子 アスク出版

【その他】

- ・ 質問等は授業後もしくはオフィスアワーにて受け付けます。
- ・ 30 分以上の遅刻と早退は欠席、遅刻と早退を計 3 回すると 1 回分の欠席です。
- ・ 教材や授業内容は、各自のレベルや強化する点を考え多少変更することがあります。
- ・ **日本語能力試験 (JLPT) の受験は必須です。**既に N1 に合格していても、日本語能力が伸びる日本留学中に N1 満点を目指します。12 月 7 日 (日) の JLPT 受験申込は 9 月 8 日 (月) 17:00 が締切りです。
- ・ この授業は能動的な学習態度が必要です。大学図書館にも日本語能力試験対策や日本語文法のテキストがあるので積極的に活用してください。

日本国家概況

選択(2単位) 火3時限 教員氏名:趙 方任

開講年度・学期 2025年度後期

【授業種別】 講義

【授業概要・ねらい】

日本という国の基本データ、特徴、世界の中の地位と評価を紹介する。日本の概況を紹介した後、留学生に日本と比較しながら自国の状況を紹介してもらいます。授業中、各種の映像や写真を多用します。

【到達目標】比較の目線を育て、日本、中国文化の基礎及び日中韓三ヵ国文化の相違をマスターします。

【授業内容】日本国の世界遺産、社会構造、政治体制、庶民生活、文化現象、物産、祭り、観光名所、生活習慣と忌諱などを主な内容とします。

第1回	世界の人々が見る日本
第2回	日本の喫茶文化
第3回	日本の茶道
第4回	相撲
第5回	神道と神社
第6回	日本のお寺
第7回	日本の政治構造と選挙
第8回	税金と家計簿
第9回	女性と子育て
第10回	日本の観光
第11回	おもてなし文化
第12回	浮世絵
第13回	日本の食文化
第14回	日本酒と飲酒文化
第15回	まとめ

【評価基準】 授業出席8割以上を評価対象とします。授業出席8割未満はE(出席不足)です。

評価割合は、出席とレポートで評価する。出席は40%、レポートは60%。

レポートは授業内容に関する感想文レベルでよい。

S(100～90点)A(89～80点)B(79～70点)C(69～60点)D(59点以下は不合格)

【教材】特になし。プリントなど授業中随時配布。

【その他】

- ・ 質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。
- ・ 遅刻と早退を計3回すると1回分の欠席になります。30分以上の遅刻と早退は欠席とします。
- ・ レポートや課題については第1回授業ガイダンスで詳しく説明します。

映画から見る日本文化

必修(2 単位) 水 4 限 教員氏名:森 功次

開講年度・学期 2025 年度後期

【授業種別】講義

【授業概要・ねらい】

この授業ではいくつかの日本映画を観賞しながら、日本映画の歴史を学ぶとともに、そこで描かれている日本の文化、社会事情を学びます。履修者には、自国の生活文化と比較しつつ、2つの国の特徴を考察してもらいます。また、映画で用いられている多様な技法を学ぶことで、映画の鑑賞法を学ぶこともこの授業の目標です。現時点では小津安二郎、黒澤明、是枝裕和、青山真治、濱口竜介といった監督の作品を観ていこうかと考えていますが、どの映画を見るかは履修者の希望、語学レベルや歴史知識を考慮しつつ決定します。

【到達目標】 日本映画についての基本的な知識を身につけること。日本の文化と自国の文化を照らし合せ、その違いを自分のことばで説明できるようになること。映画作品に込められているさまざまなメッセージを読み取れるようになること。

【授業内容】

第 1 回	ガイダンス、課題の説明、成績評価について
第 2 回	家族の描写: 鑑賞前の背景説明
第 3 回	映画を見る、ディスカッション
第 4 回	時代劇: 鑑賞前の背景説明
第 5 回	映画を見る、ディスカッション
第 6 回	高度経済成長期: 鑑賞前の背景説明
第 7 回	映画を見る、ディスカッション
第 8 回	バブル経済期: 鑑賞前の背景説明
第 9 回	映画を見る、ディスカッション
第 10 回	現代の社会問題: 鑑賞前の背景説明
第 11 回	映画を見る、ディスカッション
第 12 回	青春映画: 鑑賞前の背景説明
第 13 回	映画を見る、ディスカッション
第 14 回	平成・令和の若者映画: 鑑賞前の背景説明
第 15 回	映画を見る、ディスカッション

【評価基準】授業出席 8 割以上を評価対象とします。授業出席 8 割未満は E(出席不足)です。

評価割合は、授業中の発言・質問を 50% 最終レポートを 50%とします。

S(100～90 点)A(89～80 点)B(79～70 点)C(69～60 点)D(59 点以下は不合格)

【教材】プリントを配布

【その他】

- ・ 質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。
- ・ 遅刻と早退を計 3 回すると 1 回分の欠席になります。30 分以上の遅刻と早退は欠席とします。
- ・ レポート、課題については第 1 回授業ガイダンスで詳しく説明します。

日本語と日本の文化

必修(2 単位) 水 2 限 教員氏名:森 功次

開講年度・学期 2025 年度後期

【授業種別】 講義

【授業概要・ねらい】

この授業では、日本語の特徴的な語彙、使用法を見ていきながら、そこに表れ出ている「日本的」な考え方について学びます。日本語では、ほんの少しの言葉づかいが変わるだけで、ニュアンスが大きく変わります。その意味の変化について考えながら、その裏側にある思想・世界観を学んでいきます。

また、授業では毎回、ニュースを利用しつつ時事的な話題について解説します。現代の生きた日本語で社会を見ることがねらいです。

【到達目標】まぎらわしい日本語表現を使い分けられるようになること。表現に含まれるさまざまなニュアンスを読み取れるようになること。言葉と文化とのつながりを考える姿勢を身につけること。

【授業内容】

第 1 回	ガイダンス、課題の説明、成績評価について
第 2 回	自分や家族の呼び方、役割語、その1
第 3 回	自分や家族の呼び方、役割語、その2
第 4 回	依頼と謝罪のしかた、お祝いの表現
第 5 回	季節にまつわる表現
第 6 回	宗教に由来する表現
第 7 回	食べ物にまつわる言葉
第 8 回	食べ物にまつわる言葉2
第 9 回	履修者によるプレゼンテーション1
第 10 回	人や物をほめる
第 11 回	はやり言葉と死語
第 12 回	年末年始の言葉
第 13 回	贈り物とお返し、挨拶
第 14 回	仕事で使う言葉、メールでの表現
第 15 回	履修者によるプレゼンテーション2

【評価基準】授業出席 8 割以上を評価対象とします。授業出席 8 割未満は E(出席不足)です。

評価割合は、授業中の発言・質問 50%、プレゼンテーション 50%とします。

S(100～90 点)A(89～80 点)B(79～70 点)C(69～60 点)D(59 点以下は不合格)

【教材】特になし

【その他】

- ・ 質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。
- ・ 遅刻と早退を計 3 回すると 1 回分の欠席になります。30 分以上の遅刻と早退は欠席とします。
- ・ 「母国と日本の言葉づかいの違い」をテーマに、学期中に2回プレゼンテーションを行ってもらいます。やり方については、第 1 回の授業ガイダンスの中で詳しく説明します。

日本の文学(近・現代)

選択(2単位) 水3時限 教員氏名: 森 功次

開講年度・学期 2025年度後期

【授業種別】講義

【授業概要・ねらい】

現代日本の代表的な作家である村上春樹の作品をじっくり読みながら、日本語表現、日本の文化や社会問題、そして文学的な技法について学んでいきます。授業では、ただ作品を読むだけでなく、村上春樹の作品を読む上で念頭に置いておくべき時代状況、作家のスタイルの変化などについても解説していきます。どの作品をどれくらいのスピードで読んでいくかは、履修者の希望、語学レベルを考慮しながら決定します。

【到達目標】 日本文学の基本的な知識を身につけること。文学作品について、日本語で感想を語り合えるようになること。日本語で文学を読む楽しさを知ること。

【授業内容】

第1回	ガイダンス、課題の説明、成績評価について
第2回	村上春樹の短編小説を読む
第3回	村上春樹の短編小説を読む
第4回	村上春樹はどう読まれてきたか
第5回	村上春樹と他の日本人作家
第6回	村上春樹を読む
第7回	村上春樹を読む
第8回	村上春樹のインタビューを読む
第9回	諸外国における村上春樹の受容のされ方
第10回	村上春樹を読む
第11回	村上春樹を読む
第12回	村上春樹を読む
第13回	村上春樹と音楽・料理
第14回	村上春樹と日本社会
第15回	村上春樹と翻訳

【評価基準】授業出席8割以上を評価対象とします。授業出席8割未満はE(出席不足)です。

評価割合は、授業中の発言・質問50%、最終レポートを50%とします。

S(100～90点)A(89～80点)B(79～70点)C(69～60点)D(59点以下は不合格)

【教材】 ひとまずはなし。選ぶ作品が決まったら、本を購入してもらいます。

【その他】

- ・ 質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。
- ・ 遅刻と早退を計3回すると1回分の欠席になります。30分以上の遅刻と早退は欠席とします。
- ・ レポートや課題については第1回授業ガイダンスで詳しく説明します。